

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

No.233

認定こども園あさかぜ

園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 10の姿から「学び」を年齢別に可視化する。ドキュメンテーションを作成する。	○	「学び」を定期的に可視化しアプリで保護者に伝えることができた。
		(2) 保育者等の自己評価を実施する。教育・保育計画を見直しする。	○	
		(3) 保育カウンセラーの訪問及びケース検討会を行う。子育てファイルふくいっ子や育ちの支援計画シート等を活用する。	○	個人懇談会の際、保護者の方にも記入していただき十分活用できた。
		(4) 園の特性を生かした食育の推進。食育計画の作成と実施。	◎	園児たちに食への興味・関心が持てるように簡単な手伝いをしてもらった。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 園内研修(みあいっこ)を実施する。県内外の研修への参加。ICTの技術を活用する。	○	ICTの技術が活用できた。
		(6) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深める。施設内外の研修体制の確立と体制づくり。	○	
		(7) キャリアアップ研修や福井県幼児教育センター研修に参加し報告する。	△	研修には参加したが資料を回覧するだけで報告があまりできなかった。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談及び保育参観の実施。連絡帳や送迎時の対話等で保護者への育児に対する助言をする。	◎	各年齢ごとに参観・懇談が実施できた。
		(9) 食事だより・保健だよりを配布する。感染症の発生状況及び対応に関する情報を提供する。	◎	食事だより・保健だよりなどおたよりは、アプリにて保護者にお知らせするようになった。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放日等の情報を提供する。子育てマイスターを活用する。育児相談の実施。	◎	
		(11) 一時預かりの受け入れを実施。福井市のすみずみ子育てサポート事業のパンフレットの配布。	◎	一時預かりの受け入れは、実施できた。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(12) 保育の相談及び援助の知識及び技術向上のための研修に参加する。	○	
		(13) 健診や幼児相談会を通して健康管理センターとの連携を図る。気がかりな子に対しては各関係機関との連携を図る。	◎	
		(14) 子育て支援に関する連絡協議会等へ参加して情報共有する。	×	
		(15) 就学先の小学校や転園先へ要録等の送付。福井県幼児教育センター主催の接続講座・研修への参加。	◎	各関係機関と連携を図ることができた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(16) 災害発生時の公的施設としての機能を整備する。	○	備品を確認し、新たに購入した。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(17) 子どもについての相互理解を図るため関連機関(公民館・児童館)と連携を図り協働していく。	×	
		(18) 小学生、中学生などの教育・保育体験の受け入れをする。	○	中学生の職場体験を受け入れることができた。
	子育て文化につながる活動を広げます	(19) 自治会、公民館等の行事に参加する。	○	
		(20) 子育て支援「おひさま広場」の開催をお知らせして参加していただけるように声をかける。	◎	子育て支援センターにも声をかけてもらい毎回多数の参加希望があった。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(21) 地域の夏祭り、公民館祭り、敬老会等に参加する。	○	
		(22) こども園の社会的責任のあり方についての研修に参加する。個人情報保護法を遵守する。	○	
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23) これからの乳幼児の教育・保育制度について研究大会等で意見を提示する。	×	
		(24) 「福井市の認定こども園における質の向上のためのアクションプログラム」を実施する。	○	

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎:当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○:計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △:不足する部分や問題があった。 ×:目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。